

伊藤 愛恵 議員 (主な答弁者・・・企画財政部長)
先端技術を活用し、子育て・教育や市民生活の質の向上を!!
 —高付加価値サービスの実装に向け、企業と共に取組を推進する—

問 刈谷放課後子育てMa a Sプロジェクトの実証実験に関する評価と今後の計画は。
答 利用者や事業者から好意的なコメントがあった。有料化など次のステップで実証を重ね、実装化に向けた取組を推進する。

問 本事業は、子育て・教育の質向上に資する取組であったが、スマートシティ構想の実現全体に関する今後の展望は。
答 本市で開発された先端技術が市内で実証され、先行的に社会実装され、質の高い市民生活



先端技術を活用した魅力的なまちづくりを

谷口 睦生 議員 (主な答弁者・・・福祉健康部長)

認知症基本法に基づき認知症の人や家族に寄り添った支援を!!
 —チームオレンジを立ち上げ認知症の人や家族の支援拡充につなげる—

問 令和6年1月に施行された認知症基本法の目的は。
答 認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会の実現を推進することを目的とする。

問 今後の市の認知症施策は。
答 本市の第9期介護保険事業計画「高齢者福祉計画」では「認知症施策の充実」を基本目標とし、認知症ステップアップ講座を受講した人を中心としたチームオレンジを立ち上げ、認知症の人やその家族のニーズにあった具体的な支援につなげる仕組みを構築する。

葛原 祐季 議員 (主な答弁者・・・教育部長)

今後の学校部活動の在り方についての考えは!!
 —部活動コーディネーターを配置し地域人材の充実を図る—

問 小学校部活動終了の方針は、将来的な中学校の部活動の在り方をめぐる議論に関連しているのか。また、将来像に向けた段階的な措置であったのか。
答 刈谷市独自の小学校部活動は、国の提言により見直し、令和8年度末までに終了を予定しているが、中学校については、当面、学校部活動の形を維持しながら継続する予定である。

問 今後の部活動の在り方について市の考え方はどのようなか。



各校の実態に応じた地域人材の充実を図る

問 令和6年度から部活動コーディネーターを配置し、各中学校の部活動の実態に応じて、地域人材の充実を図りながら、地域移行の在り方を検討する。

上田 昌哉 議員 (主な答弁者・・・教育部長)
日本版DBSの導入により子供たちを性犯罪被害から守る!!
 —関係機関と連携し、日本版DBSに関する議論に留意していく—

問 日本における日本版DBS導入の機運はどうか。
答 現在、こども家庭庁の有識者会議において導入に向けた検討が進められている。

問 児童生徒が性犯罪被害を受けた場合の心のケアはどうか。
答 万が一の場合、警察などの関係機関と連携し適切に対応する。学校では、被害を受けた児童生徒の状況や心の状態に配慮した上で、教職員とスクールカウンセラー等が連携し児童生



子供たちが安心できる環境の整備を

外山 鉦一 議員 (主な答弁者・・・次世代育成部長)

保育士がいつまでも働き続けられる魅力ある園づくりを!!
 —安心して保育ができるよう業務軽減と処遇改善に努めている—

問 全国的に保育士不足が言われているが、本市は採用者数に対し応募者数が3・0倍と高い。その主な要因は何か。
答 育児休業や特別休暇など働きやすい環境づくりに努め、この取組を、大学等の訪問時に説明することで多くの応募につながっていると考える。

問 全国的に保育士不足が言われているが、本市は採用者数に対し応募者数が3・0倍と高い。その主な要因は何か。
答 給与は一般行政職と同じ給与体系で、私立保育所には補助を行い同水準支給されている。また業務支援システムの導入等保育士の負担軽減に努めている。

深谷 英貴 議員 (主な答弁者・・・市長)

全ての産業の持続的な成長を促すまちづくりが必要では!!
 —社会の変革スピードを見誤ることなく市政運営を行う—

問 円安や少子化、自動車業界の変革期等の課題が山積みしており、産業分野では、イノベーションやDX、GXが大きなキーワードとなるが、令和6年度における市長の思いは。
答 既存のリソースの活用と人材の育成が大切だと感じている。子供たちにもものづくりへの興味を持ってもらうために実施している「CoDo」や「Techプロジェクト」や「未来創造たまご塾」の取組を進めながら、新たに市内の中小企業向けにス



ものづくりへの興味を持ってもらい次代を担う人材の育成を図る

市議会における個人情報開示請求等の実施状況

令和5年4月1日に施行された「刈谷市議会個人情報保護条例」では、毎年度、この条例の施行状況を公表することと規定されていますが、令和5年度において保有個人情報の開示請求等はありませんでした。

議会トピックス

議員研修会を実施

(2月1日)

【講師】

弁護士 帖佐 直美 氏

【テーマ】

議員とコンプライアンス

研修会では、議員が公の場合で発言する場合やSNSなどを通じて情報を発信する場合の注意点について根拠法令を交えながら御講義いただきました。
 現代社会では、あらゆる情報がインターネットを通じて手に入れますが、中には誤った情報が含まれている危険性もあるため、情報を引用して発信する場合には、安易に鵜呑みにするのではなく、あらかじめその内容が真実であることをしっかりと確認することの大切さを学びました。
 議会の信頼は議員一人一人の良識ある対応と節度ある行動により保たれるものです。市民から誤解や疑念を招くことがないように、今回の研修を通じて学んだ内容を肝に銘じ、市民に信頼される議会を目指してまいります。

編集後記

かけはし

◆年度替わりの季節、4月には子供たちなど新しいステージへとまた一歩踏み出した方も多々と思います。新たな場での御活躍を祈念いたします。
 ◆3月定例会では、令和6年度予算の様々な事業などについて、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりに向けて議論を重ねてきました。
 ◆特別会計などを含めた令和6年度予算の総額は、前年度と比較して6・2%増の1046億6061万9千円と過去最高額となりました。総合

計画の基本方針である都市基盤「安心して暮らし続けられる快適なまちづくり」、教育文化「生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり」、産業環境「人と技術でにぎわいを創り未来につながるまちづくり」、福祉安心「支え合い誰もが安心して暮らせるまちづくり」のほか、マネジメント方針「持続的なまちの発展を支える行財政運営」における施策を着実に遂行し、市民の皆様のために取り組んでいきます。市議会としても市当局と未来の刈谷市を見据えながら議論してまいりますので、市民の皆様のお意見を気軽に頂けると幸いです。
 (議会広報委員会)